

会員の皆様

公社) 広島県理学療法士会

会長 甲田宗嗣

生涯学習局長 越智裕介

学会部長 梅原拓也

2025 年度学会部事業

2025 年度学会部事業「学会デビューの第一歩：研究サポートプロジェクト」

参加者の公募

拝啓

会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、下記の要領で、初めての学会発表を支援するプロジェクトを立ち上げました。本プロジェクトでは、次のような悩みをお持ちの方々をサポートすることを目的としています：「日々の臨床の疑問を学会で共有したい」、「学会で発表してみたいけどやり方が分からない」、「漠然とした不安でなかなか学会発表に踏み切れない」。このようなお悩みをお持ちの方を対象に、広くご参加いただけるプロジェクトです。本プロジェクトでは、研究成果を出すことよりも、学会発表に至るまでのプロセスを経験し、成長することに重点を置いています。学会発表に挑戦してみたいとお考えの方は、どうぞお気軽に、下記の要項に基づいてご応募ください。

敬具

【本プロジェクトの目的】

広島県内の学術活動の啓発・普及のために、広島県内で勤務する理学療法士会会員に対して、研究仮説立案から学会発表に至るまでの過程を経験してもらうこと

【参加者の条件】

1. 広島県内で勤務する広島県理学療法士会の会員である者
2. これまでに学会での発表経験がないもしくは少ない者
3. 2025 年度もしくは 2026 年度内の広島県理学療法士学会での演題発表に興味がある者、または演題発表を予定している者
4. 学会発表が実現した場合、翌年以降の参加者を支援する意思がある者

5. 支援に関する以下の内容について所属長の承諾を得ている者
- ①広島県理学療法士会から発表支援を受けること
 - ②研究支援した者の氏名と所属先が共著者として記載されること
 - ③希望があれば「理学療法の臨床と研究」論文執筆支援を受けること

【選考基準（参加者多数の場合）】

1. 応募者の背景や動機を基に選考します（応募フォームにて記載）
2. 応募者の所属先における研究協力体制を鑑みます
3. 学会発表経験のない方を優先します

※応募者のご興味のある分野に対応可能な支援者が確保できない場合、やむを得ずお断りさせていただく可能性が御座います。

【プロジェクトの内容】

- ・ **支援方法**：個別対応による Web ミーティングもしくは LINE works
- ・ **支援内容**：下記スケジュールに基づき、柔軟に対応

スケジュール（予定）：

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 2025年6～9月 | ：オリエンテーション・臨床疑問から研究仮説を作成 |
| 2025年9～11月 | ：研究計画書を倫理審査に申請 |
| 倫理審査後 | ：データ収集および解析を順次実施 |
| 2026年4～5月 | ：第30回広島県理学療法士学会用の抄録作成・提出 |
| 2026年5～6月 | ：発表用スライドまたはポスター作成 |

※進捗状況に応じて、第29回広島県理学療法士学会で発表をお願いする場合があります。

【注意点】

1. 進捗状況に応じた柔軟な対応：スケジュール内での完結を基本とし、進捗に合わせたフォローを行います。
2. プロジェクト終了後の支援：プロジェクト終了後も、希望に応じて発表後の研究継続や論文執筆支援を検討いたします。
3. 支援者の変更：途中で支援者に変更となる場合がございます。
4. 症例報告（研究）も対象とします。

【研究支援スタッフ一覧】

高橋真（広島大学）
西上智彦（県立広島大学）
藤井紀文（広島都市学園大学）
小川拓郎（ひだかペインクリニック）
岩本義隆（広島大学病院）
岡田泰河（マッターホルンリハビリテーション病院）
越智裕介（福山循環器病院）
崎元直樹（市立三次中央病院）
梅原拓也（広島国際大学）
金口瑛典（広島国際大学）
桑原大輔（済生会呉病院）

【参加者の公募】

令和7年5月1日（木）～ 5月31日（土）

【申込方法】

以下の申し込みフォームに必要事項を記入してください

<https://forms.gle/EFKhXr2aeTds3RPP7>

本プロジェクトの参加者に決定となった場合、2025年6月迄に連絡いたします

【問い合わせ先】

生涯学習局 学会部長 梅原拓也

E-mail : academic-gak@hpta.or.jp